1 事業者の氏名等

事 (法 及て	業 えんにん	皆の あって) 氏 ては の氏:	名 3称	鹿島代表		式会 社長	村	満義					
事	業	者	番	11 / 号		 	,,	-	11.7.3.2					

2 報告する事業所等の全体の状況 (平成21年度)

条例第8条の23第1項 報告事業所数	22 事業所	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	7,326 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー 使 用 量 の 合 計	0 kl

3 事業者としての取組

取組方針	全社的にビル運営の地球温暖化対策活動を推進するために、「エネルギー管理統括者」と「エネルギー管理企画推進者」のもと、管財物件と開発物件とそれぞれに責任者を配置し、関係部署からなる「省エネ法等自社対応ワーキンググループ」を平成22年1月に立ち上げた。ワーキングの役割は、温暖化対策推進、CO2排出量の削減に関し、業務部門・付属施設と開発事業部門とを含めた全社の組織を見渡した中長期削減計画の作成並びにそのローリングプランとして年度計画の作成及びその達成状況のチェックである。平成22年度より全社的に削減計画遂行のために5年間で順次、高効率照明等の導入を図るとともに、運用における温暖化対策活動を継続推進する。また、その支援ツールとして全社をカバーするエネルギー消費量集計・評価システムを導入済みであり、消費実態に基づく対策立案に活用する。									
		重点対策		その他対策						
	対策番号	対策名	対策番号	対策名						
	A101	地球温暖化対策の方針等の設定	A104	取組状況の点検体制の構築						
組織体制の	A102	温暖化対策推進担当の配置	A106	本社等による支店の支援						
整備の状況	A103	具体的な取組目標と内容の設定	A107	排出状況の整理・分析・提供						
	A111	全従業員に温暖化対策情報の提供	A108	組織横断的な推進体制の整備						
			A114	温暖化対策優良事例の情報収集						
			A115	優良事例の組織内共有体制の構築						

4 特記事項

4	付記事項

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名	,				満義				
事業所等の名称	渋谷ク	[゛] ストノ	ヽウス						
事業所番号	-			_					
	₹ 1	5	0 -	0	0 0	2			
事業所等の所在地	渋谷区								
	渋谷4-	1-12、	13						
事業所等の延床面積	Marie Company		88	87.34	m^2				
所 有 形 態	<u> </u>	己所有			車当	と 所	等の形態	■ 建物の全	部使用
	□他	者所有			サ ノ	N// 1 \	1 42 112 162	□ 建物の-	一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6 9	1	1 連	鎖化	事業区分	. [〕直営店	□ 加盟店	■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=⑬×0.0258)	^① 70	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑩)	2 106	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3 0	t
	総計(④=②+③)	106	t

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	\mathcal{O}	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	係数 ®	(t) 9=⑦×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
,,,,	その他 ()				0.0				
	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	279,539.0	9.76	2,728.3	0.382	106.8
規則	第5条の17第35	頁の場合のみなし	値※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	12 0.0
		合 計					⁽³⁾ 2,728.3		106.8
その	水道及び工業	用水道		m^3	741.1			0.200	0.1
他	公共下水道			m^3	741.1			0.450	0.3
	-	合 計							0.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰価吸化V	7,4710	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組	織体制の整備				
工使	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
省					
エネ					
エネルギー					
· 分					
対策	設備保守対策				
	設備導入対策				

1 事業所等の概要

11:2	名(注	· 1 17	あ	2	は名	者の 称及 名)						: 中柞	寸	満義	11/10							
事	業	所	等	£ 0	り 名	称	赤坝	豆シ	グマ	タ	ワー	ビル	V									
事	≱	É	所	ŕ	番	号						_										
							Ŧ	1	0	7	_	0	0	5	2		_					
事	業	所《	等	の	所右	E地	港区	<u> </u>														
							赤坂	₹2-1	7-1	1												
事	業月	斤等	€ Ø) 延	床	面積					5,72	26.0	0 n	n^2								
所		有		Ŧ	色	態			引所で					事	業百	近等。	の形態	建物の				
							Ш	他者	新	有				,	. >1 </td <td>×1 •3</td> <td>- > /1> /EX</td> <td>建物の</td> <td>)—‡</td> <td>邻使</td> <td>用</td> <td></td>	×1 •3	- > /1> /EX	建物の)—‡	邻使	用	
						子類 番号		9	1	1	連	鎖化	/事	業区	分		直営店	加盟尼	i		非語	該当
前か		度(報変		勺 容 点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	172	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑩)	261	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3	t
	総計(④=②+③)	⁴ 264	t

	.,.,	加重4~/	推計			云 坐.	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	\mathcal{O}	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量* ¹ (t)
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	8	9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び 熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	684,696.0	9.76	6,682.6	0.382	261.6
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	植 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					$^{\odot}$ 6,682.6		261.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	5,017.0			0.200	1.0
他	公共下水道			m^3	5,017.0			0.450	2.3
		合 計							3.3

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰価吸化V	7,4710	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組	織体制の整備				
工使	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
省					
エネ					
エネルギー					
· 分					
対策	設備保守対策				
	設備導入対策				

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及 び代表者の氏名)						† }i	尚義	<u>.</u>						
事業所等の名称	イース	ストネ	、 ツ	トビ	ル									
事 業 所 番 号					_									
	〒 1	3	5	_	0	0	1	6						
事業所等の所在地	江東区	<u>.</u>												
	東陽7	-1	- 1											
事業所等の延床面積			1	0,56	0.68	3 m	2							
所 有 形 態		己所有					事	業戸	斤等(の形態	建物の			
121 11 712 JEV	□他	者所有	有				٠,٠	<i>></i> < />	1 13 .	- /1/ /LK	建物の	一部位	吏用	
日本標準産業分類における細分類番号		1	1	連	鎖化	事業	美区会	分		直営店	加盟店		非	該当
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	^① 632	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	942	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3 7	t
	総計(④=②+③)	949	t

<u> </u>	3 一致亿灰条协山重寺(2) 100									
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	二酸化 排出 係数 ®	炭素排出量 排出量** ¹ (t) _{⑨=⑦×®×44/12}	
	都市ガス		П	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
444.	即用カク		Ш	Nm	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0	
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0	
び熱	その他 ()				0.0					
	その他 ()				0.0					
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	2,361,712.0	9.97	23,546.3	0.382	902.2	
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	104,451.0	9.28	969.3	0.382	39.9	
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	植**2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0	
		合 計					⁽¹³⁾ 24,515.6		942.1	
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	11,919.0			0.200	2.4	
他	公共下水道			m^3	11,919.0			0.450	5.4	
		合 計							¹⁵ 7.7	

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4		刈水の天	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
- 糸日	織体制の整備			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
//1	「「成件」」。シュモ 「用				
	ション かの	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C507	温度計等による室温の把握と調整
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
415					
省工					
ネ					
ルギ					
]					
対策	設備保守対策				
	双 洲 水 小 刈 水				
	設備導入対策				
	以 洲 等 八 刈 水				

5	特記事項		

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及 び代表者の氏名)			満義			
事業所等の名称	石神井公園ピ	アレス	店舗			
事業所番号						
	T 1 7 7	- 0 (0 4 1			
事業所等の所在地	練馬区					
	石神井町2-14-	1				
事業所等の延床面積		1,287.00	m^2			
所 有 形 態	■ 自己所有		事業司	斤等の形態	□ 建物の全部使用	
	□ 他者所有		F ///	14.5115157	■ 建物の一部使用	
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事	事業区分	□ 直営店	□ 加盟店 ■ 非該	:当
前年度の報告内容からの変更点						

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	① 88	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑩)	2 134	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	134	t

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の種別		\mathcal{O}	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量*1
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	保 数 ®	(t) 9=⑦×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
////	その他 ()				0.0				
	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
/···	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	352,327.0	9.76	3,438.7	0.382	134.6
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	値※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					⁽³⁾ 3,438.7		134.6
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	1,015.0			0.200	0.2
他	公共下水道			m^3	1,015.0			0.450	0.5
	合 計								0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰価吸化V	7,4710	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組	織体制の整備				
工使	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
省					
エネ					
エネルギー					
· 分					
対策	設備保守対策				
	設備導入対策				

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及び代表者の氏名の	,				中村	† }	苘義							
事業所等の名称	鹿島赤	F坂別	館											
事業所番号	-				_									
	〒 1	0	7	_	8	3	4	8		_				
事業所等の所在地	港区													
	赤坂6-	5-11												
事業所等の延床面積	ilm)		1	8,83	4.83	m	2							
所 有 形 態	<u> </u>	己所有					車	業	近盆	の形態	□建	物の全	全部值	世用 ニュー
	□他	者所有	Ī					<i>/</i> (<i>/</i>)	ΣΙ 1 3 .	· > /I/> /EX	■建	物の一	一部传	世用
日本標準産業分類における細分類番号		0	0	連	鎖化	事業	美区会	分		直営店	□加	盟店		非該当
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	1)	984	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑩)	2	1,486	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3	8	t
	総計(④=②+③)	4	1,494	t

		ル田里子()/	3 H/ X		1				
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)		炭素排出量 排出量*
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	8	9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
,,,,	その他 ()				0.0				
-	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	3,002,424.0	9.97	29,934.2	0.382	1,146.9
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	887,712.0	9.28	8,238.0	0.382	339.1
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	値※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					⁽¹³⁾ 38,172.1		1,486.0
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	12,367.0			0.200	2.5
他	公共下水道			m^3	12,367.0			0.450	5.6
		合 計							8.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

$\frac{4}{\Box}$	地球温暖化の	NRVX	重点対策		その他対策
		対策番号	サ 対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
組	織体制の整備	A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
,,	200	A204	取組状況の点検体制の構築	A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
				A207	排出状況の整理・分析・提供
))) (// // // // // // // // // // // // //	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の照明消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
省工		C506	余熱利用による早めの空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ネ		C508	空室・不在時等の空調停止	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
ルギ				C507	温度計等による室温の把握と調整
1		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
,,,				D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	/#:\关	E103	高効率照明器具の採用 (屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E110	高効率モータの導入 (空調用)

5	特記事項

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及 び代表者の氏名)					中村	満	義							
事業所等の名称	DKビル	/												
事業所番号					_									
	〒 1	0	7	_	0	0 8	5 .	1						
事業所等の所在地	港区													
	元赤坂	1-3-8	3											
事業所等の延床面積			1	0,861	1.70	m^2								
所 有 形 態	■自						事業	生可	r等σ	形態	建物の			
		者所有	有				小	\ <i>1)</i>	1 /1 4	> /1/ /EK	建物の	一部作	吏用	
日本標準産業分類における細分類番号	0 6	4	1	連鎖	鎖化	事業	区分			直営店	加盟店		▮非談	亥当
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	^① 476	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑩)	^② 723	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	③ 5	t
	総計(④=②+③)	⁴ 728	t

	— BX (B // C/) ()	が山里サッパ	3 H/ C					一五年八人	中丰朴山田
	燃料等の	種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)		炭素排出量 排出量**
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	8	9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	1,892,773.0	9.76	18,473.5	0.382	723.0
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	∕値 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					⁽¹³⁾ 18,473.5		723.0
その	水道及び工業	用水道		m^3	8,824.0			0.200	1.8
他	公共下水道			m^3	8,824.0			0.450	4.0
		合 計							5.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地球温暖化の		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
	織体制の整備			A212	温暖化対策提案制度の導入
和				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
	A N M M	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B108	エネルギー等情報の対策への活用
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の照明消灯の実施
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
省工		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
ネ				C503	利用客数の時間帯別把握
ルギ				C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
]		D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
対策	設備保守対策			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	1 14 Min 14 14 Min 14 14 Min 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14				
		E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化
	設備導入対策				
	,				

5 特記事項

1 事業所等の概要

トトタ	4 ()/夫	1 6	あィ	5717	1 名 称 /	の 及) 代表						ţ	満義	11/12								
事	業	所	等	0)	名系	尓ペ	アホ	ーフ	くビ,	ル												
事	業	É	所	番	李 芳	<u>コ.</u> ブ					_											
						₹	1	0	7	_	0	0	5	2								
事	業月	折 等	F O	う所	在均	也港區	<u>X</u>															
						赤块	反6-5	5-16														
事	業所	f等	の	延床	ミ面利	責				2,78	55.1	5 n	n^2									
所		有		形	自	7357 		ュ所を					車	工 業百	近盆	の形態] 建物	の全	部位	吏用	
							他を	が	有				7	• / / / /) 1	V 7 1/2 16K		建物	のー	·部位	吏用	
日に	本材おけ	票準	組	E 業 分類	分类	頁 0	6	0	0	連	鎖化	事	業区	分		直営店	[コ 加盟	店		非	該当
前か	年らら	要 の			内犯更点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	162	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	245	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3 1	t
	総計(④=②+③)	^④ 246	t

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	\mathcal{O}	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	徐毅 ⑧	(t) 9=⑦×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
7,,,	その他 ()				0.0				
	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
<i>,</i> , ,	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	643,722.0	9.76	6,282.7	0.382	245.9
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	値※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					6,282.7		245.9
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	2,301.2			0.200	0.5
他	公共下水道			m^3	2,301.2			0.450	1.0
		合 計							1.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地球温暖化の	/·1/K*/ J	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組	織体制の整備				
	ネルギー等の 用状況の把握			B103	時間的に詳細に把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
	運用対策	C114 C501	事務用機器を省エネモードに設定 不使用箇所のこまめな消灯	C105 C112	昼休み時の照明消灯の実施 季節に応じた外気導入量の適正化
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
省				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
ロエネ				C121 C507	屋内駐車場換気の不要時間の停止温度計等による室温の把握と調整
ル ギ				C510	その他設備の不使用時の停止
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用 (屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
	以拥守八刈界			E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

5 特記事項

1 事業所等の概要

11十名	() //- \	15 X	つて	<i>1</i> +4+	なん かり		鹿島建設株式会社 代表取締役社長 中村 満義													
事	業月	沂 等	章 の)名	称	飛日	日給	研究	ごセン	ンタ	J									
事	業	戸	f	番	号						_			_						
						Ŧ	1	8	2	-	0	0	3	6						
事	業所	等	O F	折 在	地	調布	i市													
						飛田	1給2	2-19-	-1											
事業	業所	等の)延	床面	積				2	4,6	54.00	0 n	n^2							
所	7	盲	形	<i>(</i> ,	態			引所不					車	業	近盆	の形態	建物の	全部	使用	
						Ш	他者	所	有					. / \ / /	>1 /1	*>/I// IEK	建物の	一部	使用	1
				業分類番			6	0	0	連	鎖化	(事	業区	分		直営店	加盟店		■	丰該当
前かか				告 内 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	614	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	946	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	③ 9	t
	総計(④=②+③)	955	t

			推計		//. E. E	- VII	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	\mathcal{O}	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量*1
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	派 数 ⑧	(t) 9=⑦×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	29,728.5	45.00	1,337.8	0.014	67.7
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油	1)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
,,,,	その他 ()				0.0				
	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	1,628,400.0	9.97	16,235.1	0.382	622.0
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	672,500.0	9.28	6,240.8	0.382	256.9
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則	第5条の17第35	頁の場合のみなし	値※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	12 0.0
		合 計					⁽¹³⁾ 23,813.7		946.6
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	15,058.0			0.200	3.0
他	公共下水道			m^3	15,058.0			0.450	6.8
		合 計							9.8

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

	2四州(1111)		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組	織体制の整備			A206	所内の温室効果ガス排出量を集計
		Dioi	4 > 7 1/4), + + + > 1 1	Dioo	
エ	ネルギー等の	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
	用状況の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の照明消灯の実施
	運用対策	C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
省工					
ネル					
ギーコ		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
	以佣床认为从			D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				
	PY NII 227 (1/17)				

5	特記事項				

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及 び代表者の氏名)		电島建設株式会社 弋表取締役社長 中村 満義												
事業所等の名称	Q-	- D	ΑN	1	9 9	1								
事 業 所 番 号						_								
	₹	1	0	2	_	0	0	7	1		_			
事業所等の所在地	千代	田口	<u> </u>											
	富士	:見1	-12	-1										
事業所等の延床面積					1,61	3.79	m	n^2						
所 有 形 態		自己	引所不	有				重	業	近 生	の形態	建物の	全部位	吏用
		他老	所不	有				7	A 1.	71 77	/ / / / / / 	建物の	一部位	吏用
日本標準産業分類における細分類番号		9	1	1	連	鎖化	事	業区:	分		直営店	加盟店		非該当
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	103	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	2 156	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3 1	t
	総計(④=②+③)	157	t

			推計			压业	熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	<i>の</i>	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量** ¹ (t)
			使用		(5)	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	8	9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	410,556.0	9.76	4,007.0	0.382	156.8
規則	第5条の17第3耳	頁の場合のみなし	値※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					4,007.0		156.8
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	1,598.0	$\overline{}$		0.200	0.3
他	公共下水道			\mathbf{m}^3	1,598.0			0.450	0.7
		合 計							1.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰 価吸化♡	7.4710 2.70	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
※日	織体制の整備				
//1	が以上がなって				
~	ネルギー等の				
使	用状況の把握				
		G101			
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
4 16					
省工					
エネル					
ギ					
<u>사</u>					
対策	設備保守対策				
	BY MILLY 1 1/1/1/K				
		E114	高効率パッケージの採用		
	設備導入対策				
	125 AND 14 \ 4\14 \				

5	特記事項		

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及 び代表者の氏名)		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・									
事業所等の名称	ОЈ	ビルテ	゛゙イ゚	ノグ							
事業所番号				_							
	₸	1 0	6	- 0	0 4	7					
事業所等の所在地	港区										
	南麻石	年2−11-	-10								
事業所等の延床面積			,	5,417.0	$0 m^2$						
所 有 形 態		己所有	自			工業	所等の形態	□ 建物の全	产部使用		
	■他	也者所有			-	¬ / / / /) 44 45 \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	■ 建物の-	一部使用		
日本標準産業分類における細分類番号	6	9 1	1	連鎖化	比事業区	分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当		
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	215	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑩)	326	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3	t
	総計(④=②+③)	329	t

	FS(12) ());	ル田里子()	3 H/ \					1. 11	
	燃料等の種別		推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化 排出 係数	炭素排出量 排出量*
			区用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	8	9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
-	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	855,306.0	9.76	8,347.8	0.382	326.7
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	植 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					⁽¹³⁾ 8,347.8		326.7
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	5,484.0			0.200	1.1
他	公共下水道			m^3	5,484.0			0.450	2.5
		合 計							3.6

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰価吸化V	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組	織体制の整備				
工使	ネルギー等の [用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
省	连用对水				
エネ					
ルギー					
対策	-11. / Htt / 17. / 1. / / / ·				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

5	特記事項			

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及 び 代 表 者 の 氏 名)				
事業所等の名称	人形町センタービ	シル		
事 業 所 番 号		_		
	₹ 1 0 3 -	0 0 2 7		
事業所等の所在地	中央区			
	人形町1-4-10			
事業所等の延床面積	6,55	$89.57 m^2$		
所 有 形 態	■ 自己所有	 事業所	「等の形態	□ 建物の全部使用
	□ 他者所有	4. /K//	1.11 -> 712 151	■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号		鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店 ■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点				

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	217	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑩)	330	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	③ 6	t
	総計(④=②+③)	336	t

		ア ア リ ア 山 里 マ ン ア	, н/ С					→ ポ /\ //	ш + ш. п. в
燃料等の種別		燃料等の種別		単位	使用量	係数	熱量 (GJ)		炭素排出量 排出量**
			使用		(5)	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	8	9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	864,772.0	9.76	8,440.2	0.382	330.3
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	植**2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					⁽¹³⁾ 8,440.2		330.3
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	9,412.0			0.200	1.9
他	公共下水道			m^3	9,412.0			0.450	4.2
		合 計							6.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰価吸化V	7,4710	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組	織体制の整備				
工使	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
省					
エネ					
エネルギー					
· 分					
対策	設備保守対策				
	設備導入対策				

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及 び代表者の氏名)				満義		
事業所等の名称	安全ビ	゚ル				
事 業 所 番 号						
	〒 1	0 7	- 0	0 5 1	_	
事業所等の所在地	港区					
	元赤坂	1-6-6				
事業所等の延床面積			807.08	m^2		
所 有 形 態		己所有		事業員	听等の形態	□ 建物の全部使用
	□他和	皆所有		T /N//	11 (1 4 >) [2] [2]	■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号		1 1	連鎖化	事業区分	□ 直営店	□ 加盟店 ■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点						

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	$^{\odot}$ 35	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	^② 54	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3 0	t
	総計(④=②+③)	⁴ 54	t

IAD VOL 666 a CE FU			推計		使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量**1
	燃料等の	種別	使用	単位	⑤	6	(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	係数 ®	サド山 重 (t) ⑨=⑦×⑧×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び 熱	その他 ()				0.0				
,,,,	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	142,723.8	9.76	1,393.0	0.382	54.5
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	植**2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					1,393.0		54.5
その	水道及び工業	用水道		m^3	581.1			0.200	0.1
他	公共下水道			m^3	581.1			0.450	0.3
		合 計							0.4

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

	四州山山		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
	織体制の整備			A406	使用量に応じた料金体系等の採用
邢山	加州中间少金浦				
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
	運用対策				
省工					
ネ					
ルギ					
ギーは					
対策	設備保守対策				
	以用水勺刈水				
				E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策				
	HX VIII FF/ \A) A				

5	特記事項	

1 事業所等の概要

H-2	呂()夫	· 1 1.7	あ.	って	事業者 は名 氏 氏 名	尓 及 [ţ	満義	11/12								
事	業	所	等	の	名	称	銀座	运一	丁目	イ	ース	<u></u> ኑ	ベル										
事	茅	É	所	,	番	号						_											
							Ŧ	1	0	4	-	0	0	6	1								
事	業月	所领	等(の見	斤在	地	中央	・区															
							銀座	₫1-1	9-7														
事	業月	斤等	の	延	床面	積					4,98	37.8	2 n	n^2									
所		有		形		態			引所を					車	工 業百	近盆	の形態	ı	■ 建物	の全	全部位	吏用	
								他者	前?	有					. / ()	ΛΙ <i>1</i> 1	*> /I/> /EX		〕建物	のー	一部位	吏用	
日に	本ね	標 タ	集 <u>京</u>	産 美 分	Ě 分 類番	類号	6	9	1	1	連	鎖化	事	業区	分		直営店] 加盟	店		非	該当
前か		度の			5 内 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	172	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	277	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3 1	t
	総計(④=②+③)	⁴ 278	t

	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	が田玉石・ハ	推計				熱量	二酸化	炭素排出量
	燃料等の	種別	0)	単位	使用量	係数	(GJ)	排出	排出量**1
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	係数 ®	(t) 9=⑦×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	33,827.1	45.00	1,522.2	0.014	77.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び 熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	429,006.0	9.97	4,277.2	0.382	163.9
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	95,280.0	9.28	884.2	0.382	36.4
	その他の買電(昼夜間)	不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則]第5条の17第3項	頁の場合のみなし	植**2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					$^{\odot}$ 6,683.6		⁽¹⁾ 277.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,674.0			0.200	0.3
他	公共下水道			m^3	1,674.0			0.450	0.8
		合 計							1.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

		71760	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
∳ □	織体制の整備				
乔 丑	がかりの発加				
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
上使	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
	,,,,,,,			B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
省工					
ネ					
ルギ					
ギーコ					
対策	設備保守対策				
	政佣体认为采				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
	以州等八刈州				

5	特記事項	

1 事業所等の概要

IH-2	名(注	· 1 1.7	あ.	つて	事業者 は名和 氏 名	尓 ルー							寸	満義	11/12								
事	業	所	等	(T)	名	称	亀戸	⋾東	口制	引前	ビル	,											
事	茅	É	所		番	号						_											
							Ŧ	1	3	6	-	0	0	7	1								
事	業月	所领	等(の F	近 在	地	江東	区															
							亀戸	= 6−5	57 - 2	0													
事	業月	斤等	(A)	延	床面	i積					85	38.9	9 n	n^2									
所		有		形	3	態			ュア					車	業	近盆	の形態			建物の	全部	使月	刊
							Ш	他者	前?	有					. ////	>1 /1	*> /I/ /LK		■ 交	建物の	一部	使月	Ħ
					業分 類番			9	1	1	連	鎖化	(事	業区	分		直営店	吉		加盟店	ı	•	非該当
前か					告 内 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	^① 47	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	^② 71	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	4 71	t

		<u>игш </u>	推計		使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量**1
	燃料等の	種別	使用	単位	⑤	6	(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	係数	(t) (9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び 熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	188,132.0	9.76	1,836.2	0.382	71.9
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	植**2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					1,836.2		71.9
その	水道及び工業	用水道		m^3	700.7			0.200	0.1
他	公共下水道			m^3	700.7			0.450	0.3
		合 計							0.5

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地球温暖化(/)				スの仲分笠
			重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
	2.245 11 . Had ED:				
組	L織体制の整備				
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
工	ネルギー等の			D104	以帰してに呼順に近
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C801	共用部照明のフロアごとの管理	C806	その他設備の不使用時の停止
	運用対策				
省					
エ					
ネル					
ルギ					
]		D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
対策					
*	設備保守対策				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E102	国儿月***电丁女足奋休用(座门)
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用		

5	特記事項

1 事業所等の概要

大 4	台(法	人に	- B	つて	事業 ては名 氏	者の 称及 名)	鹿島 代表					: 中柞	寸 :	満義	11/10								
事	業	所	等	Ē O	の名	1 称	銀四	匠イー	ストヒ	ジル													
事	≱	É	所	ŕ	番	号						_			_								
							₹	1	0	4	-	0	0	6	1								
事	業	所	等	0)	所有	主 地	中央	区															
							銀四	₹7-1	6-1	4													
事	業月	近等	E O) 延	床	面積					1,83	32.9	7 n	n^2									
所		有		Ŧ	形	態			見所を					事	業	近等	の形態	TE	建物の				
							Ш	他者	前?	有				,	. >(<),	×1 ,1	- > / > /		建物の)一岩	祁使	·用	
						分類番号		9	1	1	連	鎖化	(事	業区	分		直営	店	加盟店	į		非	該当
前か		度(報変		内容 点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	134	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑩)	203	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3 0	t
	総計(④=②+③)	⁴ 203	t

		(A)	推計の	出任	使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量**1
	燃料等の	个里万门	使用	単位	(5)	6	(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	係数 [®]	(t) (9=⑦×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び 熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	532,322.7	9.76	5,195.5	0.382	203.3
規則	第5条の17第3項	質の場合のみなし	植 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					$^{(1)}$ 5,195.5		203.3
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,530.9			0.200	0.3
他	公共下水道			m^3	1,530.9			0.450	0.7
		合 計							1.0

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

	2日初い皿形(口 >)		重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
公 日	織体制の整備				
小口	が、中川グル上川				
)	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
ナー・使	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
415					
省工					
エネ					
ルギ					
対策	設備保守対策				
	HX VIII VI VI XI XI				
	設備導入対策				
	BY NULL AND NATIONAL PARTIES				

5	特記事項			

1 事業所等の概要

事業所 氏名(法 び 代	人にあ	っては	1 名 称 及						中村	† }	満義	11.657							
事 業	所等	等 の	名 称	赤坝	豆ビ	ル													
事業	笔 戸	斤 番	备 号						_										
				₹	1	0	7	_	0	0	5	2							
事業原	折 等	の所	在地	港区	<u> </u>														
				赤坂	₹4−1	3-13	3												
事業別	斤等 ∅	り延床	下面積					7,05	57.7	lm	\mathbf{n}^2								
所	有	形	態			引所不					事	業	近等。	の形態		■建物の			
				Ш	他者	所	有					· /\\/	> ·1	*> /1/ /65	[□ 建物の)一部	使月	Ħ
日本はにおけ					9	1	1	連	鎖化	事	業区:	分		直営店	[□ 加盟區	Ī	■ -	非該当
前年りから			内容更点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	1)	858	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑩)	2	1,302	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3	2	t
	総計(④=②+③)	4	1,304	t

	燃料等の種別			単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	二酸化	炭素排出量 排出量** ¹
	然/村 寸 0 2	/1里刀门	の使用		(5)	6	(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	係数 ®	(t) 9=⑦×®×44/12
Ī	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	2,377,344.0	9.97	23,702.1	0.382	908.1
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	1,033,176.0	9.28	9,587.9	0.382	394.7
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規貝	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	植**2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					⁽¹³⁾ 33,290.0		1,302.8
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	4,188.0			0.200	0.8
他	公共下水道			\mathbf{m}^3	4,188.0			0.450	1.9
		合 計							2.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰価吸信(//	74710 7 20	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
- 2日	織体制の整備				
1 //11	小成件刊がクェール				
	AND MA	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
使	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
	運用対策				
418					
省工					
エネ					
ルギ					
対策	設備保守対策				
	以 洲 水 リ ハ 水				
	設備導入対策				
	以州等八刈水				

5	特記事項			

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業者の 氏名(法人にあっては名称及 び代表者の氏名)				満義		
事業所等の名称	日本橋	SOYIC E	゛ル			
事業所番号			_			
	〒 1	0 3	- 0	0 1 6		
事業所等の所在地	中央区					
	日本橋/	>網町3-	11			
事業所等の延床面積			1,273.80	m^2		
所 有 形 態	■自己			事業	所等の形態	□ 建物の全部使用
		所有		F /N/) (1 42 //2 /EV	■ 建物の一部使用
日本標準産業分類における細分類番号	6 9	1 1	連鎖化	事業区分	□ 直営店	□ 加盟店 ■ 非該当
前年度の報告内容からの変更点						

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	^① 57	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	^② 86	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3 0	t
	総計(④=②+③)	4 86	t

			推計))/ /L	使用量	係数	熱量	二酸化 排出	炭素排出量 排出量**1
	燃料等の	種別	の使用	単位	5	6	(GJ) ⑦=(⑤/1000)×⑥	係数	(t) (9=⑦×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び 熱	その他 ()				0.0				
,,,,	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	226,828.0	9.76	2,213.8	0.382	86.6
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	植**2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					⁽¹³⁾ 2,213.8		®6.6
その	水道及び工業	用水道		m^3	1,063.9			0.200	0.2
他	公共下水道			m^3	1,063.9			0.450	0.5
		合 計							0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

		N1 NK 47 3K	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
ψΠ	幼仕型の散生				
於且	織体制の整備				
工庙	ネルギー等の 用状況の把握				
)114/(A)[^^][]]E				
	運用対策				
省工					
省エネル					
ルゼ					
ギー					
対策	mm till tim i till till till				
<i>></i> X	設備保守対策				
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E105	照明用人感センサの採用
	設備導入対策 -				

特記事項					
	特記事項	特記事項	特記事項	特記事項	特記事項

1 事業所等の概要

11.2	() () ()	人に	あっ	ってし	士名汞	エルコ		鹿島建設株式会社 代表取締役社長 中村 満義													
事	業	所	等	の	名	称	ディ	ィア	マー	-ク.	スキ	ヤと	ニ タ.	ルゟ	ワ	_					
事	業	É	所	1	番	号						_									
							₹	1	7	6	-	0	0	1	2						
事	業月	折 领	等 (の形	f 在	地	練馬	氢													
							豊田	€北6	5-2-	1											
事	業別	千等	0	延月	末面	積					33	37.9	0 m	\mathbf{n}^2							
所		有		形		態		自己	別所	有				車	工業 同	近空(の形態	〕建物⊄	全部	了使	用
								他者	前7	有				7	· //\/) 1	~>/I/>/EX	建物の	一部]使	用
					き分 質番		6	9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分		直営店	〕加盟店	i		非該当
前か		变の			f 内 更	容点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	① 60	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	92	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	92	t

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	\mathcal{O}	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量**1
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	徐毅 ⑧	(t) 9=⑦×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
////	その他 ()				0.0				
	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
/···	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	241,956.0	9.76	2,361.5	0.382	92.4
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	値※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					⁽¹³⁾ 2,361.5		92.4
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	266.5			0.200	0.1
他	公共下水道			m^3	266.5			0.450	0.1
	_	合 計							0.2

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰価吸化V	7,4710	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組	織体制の整備				
工使	ネルギー等の 用状況の把握				
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯		
	運用対策				
省					
エネ					
エネルギー					
· 分					
対策	設備保守対策				
	設備導入対策				

1 事業所等の概要

事業所等の設置事業系 氏名(法人にあっては名 び代表者の氏名	杯ひ		・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・														
事業所等の名	称	新高	氰円	寺ツ	イ	ンビ	シル										
事 業 所 番	号						_										
		₹	1	6	6	_	0	0	1	1							
事業所等の所在	地	杉立	区区														
		梅里	1-7	7-7													
事業所等の延床面	 積					8,09	98.3	3 n	n^2								
所 有 形	態			引所を					車	業	近盆	の形態		□建物の金	全部作	吏用	
			他者	が	有				7	. // //)	*> / > /		■ 建物の-	一部作	吏用	
日本標準産業分における細分類番	· 類 子	6	9	1	1	連	鎖化	事	業区	分		直営店	:	□ 加盟店		非該	当
前年度の報告内からの変更	容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	1)	928	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	2	1,408	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3	6	t
	総計(④=②+③)	4	1,414	t

			推計				熱量		炭素排出量
	燃料等の	種別	\mathcal{O}	単位	使用量	係数	(GJ)	排出 係数	排出量*1
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	徐毅 ⑧	(t) 9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	3,688,177.0	9.76	35,996.6	0.382	1,408.9
規則	第5条の17第35	頁の場合のみなし	値※2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	12 0.0
		合 計					⁽³⁾ 35,996.6		1,408.9
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	9,413.6			0.200	1.9
他	公共下水道			m^3	9,413.6			0.450	4.2
		合 計							6.1

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰価吸1007	74710 - 20	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
	織体制の整備				
水 口					
)	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
	運用対策			C507	温度計等による室温の把握と調整
省工					
ネ					
ルギ					
対策	設備保守対策				
	政佣体认为尔				
				E122	給湯の温水配管の保温の実施
	設備導入対策				
	以用守八刈水				

5	特記事項				

1 事業所等の概要

大	5(法	人に	- do	つて	事業には名氏	称及	鹿島 代表					: 中柞	十	満義	14. 20								
事	業	所	等	£ 0	り 名	称	後進	終鹿	島ヒ	ジル													
事	≱	É	所	ŕ	番	号						_											
							₹	1	1	2	ı	0	0	0	4								
事	業月	所《	等	の	所 在	土地	文方	区															
							後導	<u></u> €1-7	7-27														
事	業月	斤等	€ Ø	延	床面	面積					1,29	94.12	2 n	n^2									
所		有		Ŧ	色	態			引所で					事	業	近等	の形態	追	建物の				
							Ш	他者	前?	有					. >1 </td <td>×1 ,1</td> <td>- > / > / </td> <td>Δ,</td> <td>建物の</td> <td>)—‡</td> <td>郭使</td> <td>見用</td> <td></td>	×1 ,1	- > / > /	Δ,	建物の)—‡	郭使	見用	
					業分類看			9	1	1	連	鎖化	事	業区	分		直営	·店	加盟店	į		非	該当
前か		度の		報 変	告 内 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	111	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	2 168	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	③ 0	t
	総計(④=②+③)	⁴ 168	t

	— hx \(\dagger\) \(\dagger\)	別里サッパ	, H/ \					→ πΔ // .	<u> н</u> + Ш. п. В
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)		炭素排出量 排出量**
			使用		5	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	8	9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油))		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
,,,,	その他 ()				0.0				
_	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	0.0	9.97	0.0	0.382	0.0
電気	からの買電	夜間(22時~翌日8時)		kWh	0.0	9.28	0.0	0.382	0.0
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	441,749.0	9.76	4,311.5	0.382	168.7
規則	第5条の17第3項	頁の場合のみなし	植**2	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
		合 計					4,311.5		168.7
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	1,080.9			0.200	0.2
他	公共下水道			m^3	1,080.9			0.450	0.5
		合 計							0.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地球温暖化の	71 /K V 7	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	. 421-14	747N H
組	織体制の整備				
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
	ネルギー等の 用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
	714 7 17 2 3 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7 2 7			B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の照明消灯の実施
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	運用対策			C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C119	自動販売機の不要時の停止
省工				C121	屋内駐車場換気の不要時間の停止
ネ				C507	温度計等による室温の把握と調整
ルギ					
対策	設備保守対策				
	以州水门八水				
	設備導入対策				
	BY NULL AND NATIONAL PARTIES				

5	特記事項

1 事業所等の概要

11:2	ム(沢天)	・人ん	To.	7	事業 は名 氏	称ひ							十 :	満義	i de la							
事	業	所	等	0,)名	称	八重	重洲.	鹿島	もビ,	ルデ	゚゚゚゙イン	ノグ									
事	業	É	所	:	番	号						_										
							Ŧ	1	0	4	Ī	0	0	2	8		_					
事	業月	所编	等(D ,	所 在	地	中央	・区														
							八重	1洲2	2-5-	1												
事	業別	斤等	(D)	延	床面	ī積					9,17	70.8	0 m	n^2								
所		有		开	í,	態			引所で					事	業百	近等。	の形態		物の			
							Ш	他者	か	有					. >1 </td <td>×1 •3</td> <td>· > /1> /EX</td> <td>□建</td> <td>物の</td> <td>一部</td> <td>使月</td> <td>Ħ</td>	×1 •3	· > /1> /EX	□建	物の	一部	使月	Ħ
					業分類種			9	1	1	連	鎖化	(事)	業区	分		直営店	□加	盟店	ı	= =	非該当
前か				報変	告 更	容点																

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	528	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	^② 792	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	③ 5	t
	総計(④=②+③)	⁴ 797	t

J	一段口次系	外山里守りた	1 H) Z				-		
	燃料等の	種別	推計 の 使用	単位	使用量	係数	熱量 (GJ)	排出 係数	炭素排出量 排出量** ¹ (t)
			DC/13		5	6	7=(5/1000)×6	8	9=7×8×44/12
	都市ガス			Nm^3	4,704.7	45.00	211.7	0.014	10.7
燃料	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
及	その他(灯油)		L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
7,,,	その他 ()				0.0				
-	一般電気事業者	昼間(8時~22時)		kWh	1,868,004.0	9.97	18,624.0	0.382	713.6
電気	からの買電	夜間 (22時~翌日8時)		kWh	178,154.0	9.28	1,653.3	0.382	68.1
	その他の買電(昼夜間	不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則	第5条の17第3円	頁の場合のみなし	√値 ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	® 0.0
		合 計					⁽¹³⁾ 20,489.0		⁽¹⁴⁾ 792.3
その	水道及び工業	用水道		\mathbf{m}^3	8,806.0			0.200	1.8
他	公共下水道			m^3	8,806.0			0.450	4.0
		合 計							5.7

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

4	地冰価吸10V	7.4714 17 70	重点対策		その他対策
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
		A401	テナントにエネルギー使用量提供		
糸日	織体制の整備				
//31	*\understand L. 143 _ \ \tau TET \\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\				
-	ネルギー等の	B102	関連他者からの情報を加えて把握	B103	時間的に詳細に把握
	用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B104	設備ごとに詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C507	温度計等による室温の把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
	運用対策				
415					
省工					
ネ					
ルギ					
対策	設備保守対策				
	以用小り刈水				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
	設備導入対策				
	以朋等八刈水				

5	特記事項				

1 事業所等の概要

11十名	所等 (法人 代 表	15 To	27	け名お	尓 炒し							† :	満義	14.47								
事	業度	斤等	<i>€</i> Ø	名	称	鹿島	島本	社と	゛ル													
事	業	序	ŕ	番	号						_											
						₹	1	0	7	1	8	3	8	8								
事	業所	等	の良	近 在	地	港区	<u> </u>															
						元赤	₹坂1	-3-	1													
事業	業所	等の)延,	床面	積				1	5,16	32.9	l n	n^2									
所	有	<u></u>	形	:	態			見所る					車	業	近盆	の形態		建:	物の生	全部化	吏用	
							他者	所	有					· /\\/	ΛΙ <i>1</i> 1	*> /1/ /65] 建	物の-	一部化	吏用	
	本 標					0	6	0	0	連	鎖化	事	業区	分		直営店		□加!	盟店		■非	丰該当
前かか	年度ら			告 内 更	容点																	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成21年度の状況)

原油換算工	ネルギー使用量 (①=③×0.0258)	1)	663	kl
	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素排出量 (②=⑭)	2	1,003	t
二酸化炭素排出量	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴う 二酸化炭素排出量 (③=⑤)	3	8	t
	総計(④=②+③)	4	1,011	t

0 一畝门於宋折田重守*/71			推計	単位	使用量	係数	熱量	二酸化炭素排出量	
燃料等の種別		烈里 (GJ)					排出	排出量**1	
	W. 1 (1 :> 1=73.1				(5)	6	⑦=(⑤/1000)×⑥	係数 ®	(t) 9=⑦×®×44/12
燃料及	都市ガス			Nm^3	6,581.0	45.00	296.1	0.014	15.0
	その他 (LPG)			kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)			L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
び熱	その他 ()				0.0				
,,,,	その他 ()				0.0				
電気	一般電気事業者 からの買電	昼間(8時~22時)		kWh	2,030,448.0	9.97	20,243.6	0.382	775.6
		夜間 (22時~翌日8時)		kWh	557,496.0	9.28	5,173.6	0.382	213.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)			kWh	0.0	9.76	0.0	0.382	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2} kWh			0.0	9.76	0.0	0.382	0.0		
合 計					$^{(13)}$ 25,713.3		1,003.6		
その	水道及び工業	用水道		m^3	13,720.0			0.200	2.7
他	公共下水道			m^3	13,720.0			0.450	6.2
	合 計								8.9

- ※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、 ⑨=(⑤/1,000)×⑧とする。
- ※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000⑪=(⑩/電気の一般電気事業者からの買電の全日の係数)×1,000 ⑫=(⑪/1,000)×⑧とする。

$\frac{4}{}$	地球温暖化の	N1 /R V / X	重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名		
		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築	A205	取組内容や点検体制の定期的改善		
組織体制の整備				A206	所内の温室効果ガス排出量を集計		
				A207	排出状況の整理・分析・提供		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握		
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握		
	ソロ・かくひに ^ 7・1 口 小玉	B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握		
		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C103	日本工業規格に準じた照度の設定		
	運用対策	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C104	採光を利用した消灯の実施		
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示		
省エネルギー対策		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C110	余熱利用による早めの空調停止		
		C501	不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止		
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止		
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示		
		C508	空室・不在時等の空調停止	C507	温度計等による室温の把握と調整		
				C510	その他設備の不使用時の停止		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検		
				D108	その他設備の定期的な保守・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用 (屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化		
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用		
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)		

5	特記事項